



府中市議会議員

小川 敏男 水田 豊

署中お見舞い申し上げます。

市政報告

6月26日 上下町民会館 市政報告会にて

私たちの決意

4月の選挙では大変お世話になりました。初心忘るべからずの精神で、支援をいたしました皆様の思いを市政へ引き続き届ける決意です。

さて、市長選・市議選の争点であつた病院の共同体化構想では、いつでも入院できる身近な病院を守るために、①北市民病院の縮小化に反対します。②若者の定着を目指しJA府中総合病院の産婦人科再開に取り組みます。

新しい議会は平成クラブが過半数を占め、これまで以上に市政のチェック機能が必要です。今後ともよろしくお願いを申し上げます。

主な決定議案はつぎのとおりです。

●府中市勤労青少年ホームの指定管理者の選考

指定管理者（管理・運営）はいままでまちづくり振興公社が行つてきましたが、(有)賛興プロダクションに

随意契約で変更になりました。その理由は「勤労青少年ホームの改装により宿泊や

食事の提供をするため」

●国民健康保険税 来年度の値上げ案が示される

厚生委員会に「国保会計の現状について」という資料が配布され市の説明がありました。今年度の単年度

収支は赤字となり、保険料の値上げが必要というものです。このように選挙が終

わるやいなや値上げをする

やり方は4年前のごみ有料化と同じです。こうしたやり方は許されるものではありません。

6月定例議会報告

発行者 小川敏男 水田豊

府中市出口町1076-4
TEL 41-7894

特集

病院再編問題 No 4

市の共同体化構想 = (北市民病院・JA府中総合病院) + 寺岡記念病院

実現へ向け協議会 問われる共同体化の内容

府中市の医療提供体制について、市長は病院再編を進めるため協議会を設置すると発表した。6月議会ではこの協議会について、設置の目的、スケジュール、主管部署はどうか、などについて質問をおこなった。現時点での病院再編問題を整理してみる。

着々と進む再編計画

議会では、市長、市民生活部長が答弁をおこない、おおむね次のような進行になる予定だと判明した。

病院再編スケジュール	
平成22年9月	医療再編協議会設置
↓	実施計画の策定
平成23年4月	計画の実施
↓	
平成24年4月	共同体化スタート

まず、協議会を設置するため9月議会に医療再生協議会設置の条例案を提出する。協議会で今年度中に構想を具体化するための実施

計画の策定をおこなう。計画に基づき平成23年度1年間をかけて具体的移行を進める。平成24年春には、共同体化を実現する。

当面、9月議会までに医療再生設立準備会を立ち上げ、具体的な人選を進め

ための協議・検討を始める。協議会は、実際に医師を派遣していただく大学、また現場で実際に医療に携わつておられる医師、医療を受ける住民の皆さん意見を聞きながら、将来にわたって府中市の地域医療が持続する体制を構築すると

です。

その1 過疎地域の中核病院である府中北市民病院の縮小には地域住民が反対しているという事実です。共

同化の名の下に住民の福祉の切捨ての強行には絶対に反対です。

その2 再編計画の財政的裏づけがないことです。県の医療再生計画Bプランの総事業費は27億4千4百万円ですが、国からの補助金あり、事業主体である府中

市は、残り約20億円を負担する必要があります。このお金をどう工面してどう返してゆくのか。これまで何の説明もありません。仮に借金をするとしたら府中市民1人あたり4万4千円のあらたな負担となります。

その3 なぜ寺岡記念病院と連携なのかという点です。市の中間報告によると役割分担として救急的な手術をはじめとする、より専門的な医療を担うのは、北市民病院でもなく、JA府中総合病院でもなく寺岡記念病院です。適切な機能分担割合だといふ声もあがります。これらの点について

市はしつかりと説明責任を果たすことが必要です。

着々と進行されようとしている病院再編計画ですが、基本的な問題は残つたまま

なお残る基本的疑問点

広島県地域医療再生計画 Bプラン	
事業費	2,744,000
基 金	749,000
事業者負担	1,995,000
(千円)	

9月に設置される病院再編協議会はこうした基本的な疑問にきちんと応え議論する役割が求められています。

桜が丘団地の販売の現状と今後

桜が丘団地の決算と予算が報告されました。

決算では、販売をはじめて9年、販売数は357区画中68区画(19%)でした。

借金返済は、銀行から借りた約15億円は5億円返済し、残額10億円です。

無利子融資と言われています旧建設省から借りた7

億6000万円は、10年据え置きであったため、今年度から10年かけて毎年7600万円ずつ返済していくことになります。

もう一つの、府中市から借りた7億6000万円は、今年度で一括して返済されました。ところがこの7億6000万円は銀行から借りて返済されています。なお、府中市に一括して返済された7億6000万円は約4割値下げされた財源になっています。

そして団地販売は9年で一区切りをつけて、残り289(357-68)区画を10年で完売する新たな販売計画がスタートしました。

現在までの販売数は10区となっています。これで10年後を推定しますと10年で100区画の販売、残りは189区画となり、旧建設省から借りた7億6千万円だけ返済されて、銀行から借りた借金の残額10億円、みずから借りた7億6千万円、合計約18億円は10年後も残ることになりそうです。

今後について伊藤市長は「毎年度15区画販売できれば、①国の無利子融資返済額年間7千6百万円、②利息千2百万円、③販売経費3千万円。計9千万円を支払うことが出来る。15区画以上販売できれば、それが有利子分返済額10億円の返済にまわる」と答弁しているところが理解できないの

視点

市長選挙の結果

選挙直後市長は、市民対話不足を認めるコメントを発し、新年度から市広報を月2回発行するという。しかし、選挙後初の6月議会で議員の質問に対し「市民の命と健康を守る」という合意は議会で決まる。説明責任は賛否を決定した議員の議会制民主主義の意図するところが理解できないの

議会には住民の意志や利

か、それともイエスマン議員の集団と化した議会を愚弄したのか真意が聞きたい。伊藤市長は3期の最大の首の皮をつないだ。市議選は市民対話を掲げた小川、水田が高位当選を果たした。市民は市政に白紙委任していないことを表明したといえる。

市長・市議ダブル選挙で市民が下した審判を市長や議員は真摯に受け止めねばならない。3期を目指した伊藤市長は松坂氏に僅差で首の皮をつないだ。市議選は市立北市民とJA府中総合病院の統合、さらに寺岡病院との共同体づくりに置いている。6月の市広報から情報提供するというが、一方的な官製情報とのそしりを免れない。病院問題の本質は国の医療制度改革にあるが、府中市は団地開発や小中一体校建設など自らまねいた財政危機で他市にない事情が加わる。住民の命と健康を守るという行政責任を放棄することにならないか政策論議が待たれたが、6月議会一般質問で触れた平成クラブ議員は1人のみであった。

議会には住民の意志や利益を代表し政策を決定する役割と、執行する行政を監視する役割、そして”民意”を鏡のように反映する住民参加の場としての役割がある。市長を与党勢力として支えるというのではなく、地方議会は市長が行なう行政に対して「全体として批判的機能を担う」ところに2元代表制(議会制民主主義)の基本原理がある。ここを履(は)き違える議員が大勢を占め、市長の独裁を許した結果が財政危機、市政の空洞化をきたす結果となっている。

多くの市民が市政の転換を求めた事実を市長も議員も肝に銘じてしつかりした舵取りをしなければならない。再度の議席を与えていたことに感謝し、新たに決意で誠心誠意市政に邁進してまいります。引き続きのご指導ご支援をお願いいたします。

伊藤市長は、医師不足を理由に、市立北市民病院を独立行政法人化（民営化のこと）し、合わせてJA府中総合病院と統合して、新市町の寺岡病院に、その独立行政法人化した病院の経営に参画してもらうという病院共同体構想でち出しています。問題は共同体構想で市立北市民病院とJA府中総合病院が

病院共同体構想？

縮小されることになつていていることです。そこで、「市民の生命と健康を守ることは行政の責務でないか」とまず質問したが返答がない。返答がないから病院を行政から切り離すことだけが狙いとみえる。なぜ伊藤市長は「市民の生命と健康を守ることは行政の責務です」と返答しないのだろうか。

課題は桜が丘団地

桜が丘団地の問題を訴えると、「出来たものを責任追及ばかりしてもいけんじやろ。いかに売るか言わんと」と言われる。

伊藤市長は当初「10年で完売できます。完売できたら5億円の利益が出ます。販売に商工会議所も協力してくれます。」と説明していましたが、販売をはじめて2年目から販売数は1桁。それにもかかわらず何の手立ても行なわない。こんなデタラメは許せません。さて販売策ですが、この間訴えてきたことは「見晴団地、緑ヶ丘団地にても団地は若者が買うのですから、若者が一番要望されていること。産婦人科の再開と小児科の24時間体制、つまりJA府中総合病院の充実や、介護や病院など福祉や医療職場を充実して若者の雇用をはかること。そして元手は回収できなくても値を下げる販売することです。これが販売策です。桜が丘団地の販売には、なによりも若者の雇用をはかることです。しかし、病院共同体構想でおわかりのとおり、伊藤市長は病院職場を削減する方向です。これでは若者の雇用の場はなくなるばかりです。団地販売にもつながりません。

有効求人倍率

	府中市	福山市	広島県	全国
3月	0.29	0.66	0.61	0.49
4月	0.24	0.63	0.60	0.48
5月	0.30	0.64	0.59	0.50

※有効求人倍率とは求職者1人に何人の求人があるかを示します。

「市民との対話」が市長選の争点でした。選挙後の初めての議会で、「市民の声を聞こう」という姿勢はあるのか」と質問があつた。市長答弁は、

「市民合意を強調されていますが、議会制民主主義の中で政策を決定する合意の基本というのはあくまでも議会であり、全市民を対象とする合意形成を図る方法

市長の姿勢は変わらず

する案では利用者が減ると地元の意見もあつたなかでの改定だった。2年前に地元の意見をきちんと取り入れておれば、今回、朝礼暮改をおもわせる提案をしないで済んだはずです。今後、逃げたお客様を取り戻すのに大変な努力も必要となります。

は存在しない。決定のための合意を図るということは我々の追及するものであつて、その基本は議会であつて議員のみなさまの賛否である。賛否の説明責任は賛否を行つた議員がおこなうものである。選挙後も伊藤市長の市民無視の姿勢は変わつていらない。誰の声を聞いて仕事をして

朝令暮改

パークゴルフ場

久佐町のパークゴルフ場の料金がたつた2年で改定された。利用者の減少にともなつて、年間利用券での土・日曜日・祝日の利用を認める。障害者の利用料金を半額とするなどの内容です。料金の改定は2年前に行なわれたばかり、しかもその時に土・日曜日・祝日の利用を制限